

地域全体で取り組む活力あるむらづくり

白木地区むらづくり委員会（伊佐市）

現状及び課題

白木地区は伊佐市の西部に位置しており、羽月川の支流白木川沿いにある水田が広がる地帯で、水稻と畜産の複合経営が多く行われている地域である。

しかし、近年においては、過疎や少子高齢化などの問題を抱えており、現在、集落の農業従事者が中心となって直売所を運営しているが、農業後継者不足のため運営に支障をきたしている。さらに、時期によっては、出品した野菜が過剰に余ることもあり、廃棄処分等を行うための労力や費用がかさむなどの課題もあり、存続の危機が生じている。

そこで、直売所の長期的な運営・存続のため、入荷量の調整や売れ残った野菜を加工品として販売する等、方策を検討しているところである。



話し合い活動

活動内容

県指定文化財の建造物である地元の白木神社を中心に行なう既存イベントへの参加を集落外の出身者にも呼びかけ、集落の良さを再

発見してもらいながら集落民との交流を図った。

また、地域内の資源を再発見するため、史跡巡りを兼ねたウォーキング大会を実施し、資源マップを作成した。

さらに、直売所の長期的な運営を可能とするために、出品する農産物の検討や野菜加工品づくりの研修会を行なった。



野菜加工品研修会

共生・協働の状況

むらづくり委員会を中心に、集落民全員で集落内の問題点を出して、各部会が連携して課題を解決していくための活動を行なった。

また、集落外に住む集落出身者の意見も各部会の課題に反映させ、集落関係者が一体となり、課題解決を図るような体制作りも行なった。

成果

従来は神社の奉納祭りである伝統芸能の「太鼓踊り」を、新たに花見や校区の文化祭などで披露することにしたことで、集落出身者の集落への関心が高まり、既存のイベント

や新たに開催した十五夜での綱引き大会、鬼火たきでのイルミネーション点灯などのイベントへの参加が多数見られ、集落内外住民との交流が図られた。

また、ウォーキング大会では、出発式を資源マップの前で行ない、出発前に高齢者による地域資源の説明を行なった。集落外に住む集落出身者や現在集落に住む子どもや若い世代も地元の再発見が出来て、大盛況となった。

さらに、直売所については、出品する農業関係者のみでなく、女性部や高齢者等にも協力をもらい、出荷品目や出荷量の検討会・加工品づくりの研修会などを開き、加工品については、ネギやカボチャなどの試作品を各イベントで集落民にふるまい、大変好評であった。



地域資源の再発見を兼ねた
ウォーキング大会

今後の課題と展望

今回の活動をもとに、集落住民全員で集落の問題点を話し合っ、解決に向かうという形ができつつある。今後、農業従事者の後継者不足や直売所の運営という集落の課題に、むらづくり委員会を中心として、集落全体で取り組んでいく必要がある。

リーダーの感想

リーダー 山口 武盛氏
プロフィール

- ・平成14年度 自治会長に就任
- ・平成16年度 白木地区むらづくり委員長に就任

「むらづくり委員会設立後、集落の合併等がありました。が、地区民の意識が徐々にまとまり始めてきており、今回の活動でさらにむらづくり活動が盛り上がっております。今後も地域に根ざす活動に取り組んで参りたいと思います。」



地区情報

- ・構成集落
白木（1集落）
- ・人口構成
(1) 総人口 241 人
(65歳以上の割合 39%)
(2) 総世帯数 107 戸
(うち農家戸数 36 戸)
- ・総土地面積： 161 ha
耕地面積： 47 ha
- ・主要作物
水稲、畜産、園芸など

問い合わせ先

伊佐市農政課

電話番号：0995(23)1311(代)

始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課

電話番号：0995(63)8146

水を敬い、守り、そして受け継ぐ“大野原開田のむらづくり”

大野原むらづくり委員会（志布志市）

現状及び課題

大野原集落は、松山支所から東南東へ約8キロに位置する。古くは、山からの湧き水を人力で集落まで運ぶという苦労があったが、灌漑施設が整備され、水田を中心に、いちご、メロンなど施設園芸などが盛んな地域となった。

近年は、高齢化が進み、集落活動や集落機能の維持が困難になってきており、地域営農の担い手不足も懸念されてきている。

水利施設の整備以降、水の大切さが忘れ去られ、長い年月を経て地域の歴史も忘れ去れつつある。

これらの解決のため、集落ぐるみのむらづくりや「結い」の機運醸成を早急に図る必要がある。



活動資金づくりのための甘藷栽培

活動内容

現在使用されず荒れている集落内のゲートボール場を、堆肥づくりの拠点として整備するとともに、毎年行っている集落内清掃作業等で出る落ち葉や刈草等をフラワーロードや家庭菜園等の肥料として有効活用した。

また、周辺道路や駐車場整備、ベンチの設

置などを行い、花見やレクレーション等の交流の場として整備した。

活動資金作りのため 65 アールの圃場で焼酎用甘藷の栽培に取り組み、集落住民総出で植え付け、収穫作業を行った。

また、集落内を縦横断する県道及び市道脇に、地域住民が一体となりフラワーポットの設置・管理等を行い「結い」の機運の醸成とイメージアップを図った。

集落の高齢者等を通じて、開田の歴史にまつわる資料収集や関係情報の整理を行い、「大野原開田歴史ミニギャラリー」の設置に取り組んだ。

また、いちご狩り等の農作業体験を通して、地域外との交流を図った。



フラワーポット設置の準備

共生・協働の状況

甘藷の植え付け、収穫等は集落住民総出で行い、交流を図っている。また、収穫祭も企画し、「男のそば打ち体験」と銘打って、男性陣がそばを打ち、女性陣に振る舞ってもらった。

集落内清掃では、子どもから高齢者まで参加し、集落内の落ち葉集め等を行った。

成 果

地域住民一体となって取り組んだ結果、フラワーポット設置の取組では、進んで草取りや落ち葉清掃に多数参加するなど住民の意識に変化が見られた。

また、堆肥場整備により落ち葉等の有効活用が図られ、住民が緑化活動に参加しやすい環境が整えられた。

活動前は異世代間の交流が少なかったが、活動を通して話題も広がり、お互いに協力し合う機運が高まった。



大野原開田歴史ミニギャラリー



ミニギャラリー準備の様子

今後の課題と展望

これまで地域農業や地域活動を支えてきた高齢者が、急速にリタイヤしていく現状を踏まえて、早急に受託組織の整備や遊休農地の発生防止を図りたい。

また、得意分野を生かした人材活用や高齢者が集う場の提供によりみんなが魅力を感じるような地域づくりが今後の課題である。

リーダーの感想

リーダー 中西 浩二氏
プロフィール

- ・平成17年 大野原むらづくり委員会会長に就任

「今回の事業を通して、今後の活動の方向性が見えてきた気がします。集落住民の絆もさることながら、地域を愛する機運が高まった気がします。」



「今後は、みんなが住んでみたくなるような地域を目指してむらづくりを進めていきたいと思っています。」

地区情報

- ・構成集落
大野原（1集落）
- ・人口構成
 - (1) 総人口 101 人
 - (65歳以上の割合 43%)
 - (2) 総世帯数 45 戸
 - (うち農家戸数 26 戸)
- ・総土地面積： 62 ha
- 耕地面積： 41 ha
- ・主要作物
水稲、いちご、メロン

問い合わせ先

志布志市松山支所産業振興室

電話番号：099(487)2111(代)

大隅地域振興局農林水産部農政普及課

電話番号：0994(52)2138

阿権八幡神社など、集落資源を活かした新たなむらづくり

阿権むらづくり委員会（伊仙町）

現状及び課題

阿権集落は、伊仙町の西部に位置し、一集落一小学校区という特性があり、阿権小学校の校章である青鳩になぞらえて呼ばれる「阿権青ぱと」（博愛と郷土を愛する心を育む）の精神のもとに、長年自発的な活動を行ってきた。

しかし、現在では高齢化率が約 40%となり、集落の自治機能の低下が懸念される。



むらづくり委員会での話し合い活動

活動内容

各種団体が構成される「むらづくり委員会」を定期的に開催した。

また、加工品の開発研究や集落公民館の加工室を活用しての地元食材を使った加工品の試作が行われた。

平成 22 年度には農家民宿「幸ちゃん家」が開業したことで、都市と農村の交流受入態勢の整備が図られた。

さらに、定期的に集落の氏神が祭られている阿権八幡神社の清掃・整備や集落資源（石垣、巨大ガジュマル）の補修・清掃、集落の

県道入口に集落案内看板の設置を行った。

町が進めている新規作物（長命草）の栽培に取り組んだ。



集落案内看板に地域資源を紹介

共生・協働の状況

各種団体が構成される「むらづくり委員会」による定期的な話し合い活動を行うことで、むらづくり活動に地区民が一体となって取り組んだ。

成果

NPO法人まちづくり地域フォーラムかごしま探検の会の東川隆太郎氏を講師に迎え、むらづくり講演会を開催することで、共生・協働のむらづくりに対する意識の醸成がなされた。

平成 23 年 8 月には NPO 法人美里 NPO ホールディングスと連携して、熊本県の小学生を受け入れ、落花生の収穫体験など地域住民との交流を図った。

また、同敷地内に地産地消カフェがオープンし、更なる交流人口の拡大を図っている。

さらに、町が進めている長命草を集落内で栽培し、婦人会による加工品の試作時に原料を提供した。今後、高齢者などへの栽培普及を図ることとしている。

それらを活用し、平成23年9月から集落の婦人会を中心としたメンバーにより長命草（まあざく）をはじめ地元食材を使った加工品（長命草ドリンク・長命草三杯酢・長命草天ぷらなど）の試作を行い、11月の町の産業祭で試食会、試食アンケートを行い大好評であった。

今後、直売所「百菜」での販売を目指している。

集落の県道入り口に集落資源や農家民宿など、むらの情報を盛り込んだ案内看板を設置することで集落のPRにより交流人口拡大が図られた。



長命草を使った加工品の
町の産業祭での試食会

今後の課題と展望

今後も「むらづくり委員会」を中心に、集落の維持発展を図るとともに、集落民総参加のむらづくりを行い、併せて「阿権青ぼと」精神に基づく人材育成を行う。

また、集落内のウォーキングコースの案内板の整備や地域食材を使った徳之島レストラン「まぶらってい」と集落が連携、協力することで更なる交流人口の拡大を図りたい。

これらを含めて、おもてなしの町伊仙町の一翼を担える環境整備にみんなで力を合わせて取り組んでいきたい。

リーダーの感想

リーダー 坂元 平次郎氏
プロフィール

・平成22年度 阿権むらづくり委員会会長
に就任

「共生・協働のむらづくり支援事業の導入により、集落の県道入口に大きな集落案内看板が設置でき集落外の方の来訪が増え交流が生まれました。



今後も、集落民総参加のむらづくりを進めていきたいと思います。」

地区情報

- ・構成集落
阿権（1集落）
- ・人口構成
 - (1) 総人口 300 人
（65歳以上の割合 38 %）
 - (2) 総世帯数 168 戸
（うち農家戸数 81 戸）
- ・総土地面積： 250 ha
耕地面積： 170 ha
- ・主要作物
サトウキビ、バレイショ、ゴマ、ショウガ

問い合わせ先

伊仙町経済課

電話番号：0997（86）3111（代）

大島支庁農林水産部農政普及課

電話番号：0997（57）7265

地域資源を活かしたむらづくり

芦清良字むらづくり実行委員会（知名町）

現状及び課題

芦清良字は、知名町の東南部に位置し、大山から南部のウジジ浜の中間に集落が形成されており、地下水脈の湧水を活用した稲作が盛んであった。

現在でも、湧水を活用してビニールハウス等で、グラジオラス・ユリ・ソリダゴ等の切花とキビ・バレイショ・畜産等、収益性の高い複合経営が確立されている。しかし、人口の流出で空家等が増え、更には若者の減少により字人口の25%が70才以上の高齢者となっていることから、農業面・生活文化面の担い手が不足し、地域コミュニティの形成が難しくなっている。



むらづくり実行委員会による話し合い

活動内容

むらづくり実行委員会の開催による検討会や現地視察で活動内容を決定し、以下のような活動を実施した。

- ・カナダ帆船「トゥループ号」難破120周年記念行事の開催

- ・ウジジ浜公園へ地域の案内看板設置
- ・字ホームページで字の行事や歴史等を内外に情報発信
- ・神社の神殿の補修
- ・神社の鳥居建て替え
- ・拝山神社説明看板の設置・花植え活動
- ・「江戸時代の地下ダム」史跡の環境整備
- ・地下ダム説明看板・道しるべ看板の設置
- ・「湧水の川」の環境整備



トゥループ号難破120周年記念行事

共生・協働の状況

地域の子供から老人までのすべての住民の協力のもと、むらづくり実行委員会を立ち上げた。

これにより、話し合いの体制が整い、効果的な取組を進めることができた。

成果

- ・島有数の景勝地でもある「ウジジ浜」では、漁や海水浴をする集落民と観光やひと時の癒しを求める集落以外の人々との交流が増

加した。

- ・集落の守り神が祭られている拝山神社の補修や鳥居の再建と同時に、看板等を設置して、史跡の案内に役立てた。また、神社周辺に花植活動をしたことで、集落外からの初詣者も増加し地域外との交流も図られた。
- ・先人たちの知恵と汗の結晶の文化遺産である江戸の地下ダムを後世に残すため、説明看板や道しるべ等を設置し、観光に活用した。
- ・集落の交流拠点である湧水の川に洗濯場や子供達の水遊び場を整備したことにより、利用者が増え、情報交換の場として活用された。



新しく完成した拝山神社の鳥居

今後の課題と展望

恵まれた地域資源と先人たちが築いた文化遺産をどのように活用しながら伝承していくのか、今後、更に協議を重ねていく必要がある。

また、少子高齢化対策は急務であり、その対策の一つとして、地域外交流等による人口増加を図る必要がある。

リーダーの感想

リーダー 山本 先友氏
プロフィール

- ・平成22年 芦清良字むらづくり実行委員会委員長に就任

「共生・協働のむらづくり支援事業により、景勝地のウジジ浜でのカナダ帆船「トゥループ号」難破120周年記念行事並びに看板整備等でイメージアップを図ることができました。今では、訪れる観光客も増え、地域住民との交流の輪も広がりました。



また、集落の交流拠点である拝山神社や湧水の川並びに「江戸の地下ダム」の史跡等を大切に保存しながら継承していく必要があります。

今後も「融和・アイデア・行動」の合言葉で集落の活性化のために取り組んでいきたいと思っております。」

地区情報

- ・構成集落
芦清良（1集落）
- ・人口構成
 - (1) 総人口 355 人
(65歳以上の割合 32%)
 - (2) 総世帯数 138 戸
(うち農家戸数 83 戸)
- ・総土地面積： 252 ha
耕地面積： 121 ha
- ・主要作物
ジャガイモ、キビ、花卉、畜産

問い合わせ先

知名町農政課

電話番号：0997(93)3111(代)

大島支庁農林水産部農政普及課

電話番号：0997(53)1111

(2) 平成21・22年度実施地区

中福良校区公民館（南九州市）

活動内容

- ・ 小学生の農作業体験（田植え、稲刈り）
- ・ 校区夏祭り（各団体の演技等）
- ・ 校区大感謝祭（演芸・各種展示・農業品評会等）
- ・ 子供たちとのそば打ち体験交流

リーダーのひとこと(感想)

「少子高齢化が進む中で、本事業を取り組んだことにより、地域の実情を再認識することができました。今後は、より一層校区民の絆を大切にして交流活動に取り組み、地域の伝統を継承し、むらづくりの充実に努めていきたいと思えます。」



校区夏祭り



そば打ち体験

福元むらづくり推進協議会（指宿市）

活動内容

- ・ やまがわ豊祭
- ・ 西之表市岳之田集落との交流会
- ・ 伝統芸能（棒踊り）の継承活動
- ・ 農地・水環境保全活動
- ・ 防風林の強化・育成と害虫駆除活動
- ・ 愛宕山の清掃活動

リーダーのひとこと(感想)

「むらづくり活動により、棒踊りへの小中学生の参加者が増えてきました。また、昔、福元集落の住民が種子島に移住した経緯から岳之田集落との交流も生まれました。これらは、話し合い活動の成果であり、今後も地区全体で話し合いながら活動したいと思います。」



岳之田集落との交流会



伝統芸能（棒踊り）

柘野地区むらづくり推進委員会（さつま町）

活動内容

- ・ 農作業受託組合の設立総会（平成 24 年 4 月）
- ・ 第 13 回ひがん花祭り開催（来場者 2,000 人）
- ・ 鳥獣被害防止のため、集落全体を囲う防護柵（シカ，猪用）の設置を計画（一部，試験的に設置）
- ・ 霧島市，都城市へ先進地研修（むらづくり，集落営農）

リーダーのひとこと(感想)

「事業を通じて地区民の意識が高まり，ひがん花祭りだけではなく色々な取組にも協力が得られています。今後も先進地研修などを行うことで継続的な協力が得られると思います。」



ひがん花祭りでのこども語り部によるガイド



防護柵の試験的な設置

篠原地区むらづくり委員会（伊佐市）

活動内容

- ・ 集落内の市道・農道の清掃活動
- ・ 灯ろう作成展示会（夏祭り）
- ・ なたねの栽培
- ・ 出水市野田町青木地区村づくり委員会との交流会
- ・ 伝統芸能「オバッチョ踊り」の継承活動

リーダーのひとこと(感想)

「事業を導入したことにより，地区内での活動が活発になり，伝統行事が地域に活力を与えております。また，この活動を継続するための活動費確保のため，なたねの栽培に取り組み，少しずつ成果を上げています。今後，隣近所への声かけ運動や防災活動などに取り組み，安心・安全な地区内形成を充実し，共生・協働のむらづくり運動をこれまで以上に進めたいと思います。」



灯ろうの展示（夏祭り）



自主財源確保のためのなたねの栽培

大始良地区共生・協働むらづくり委員会（鹿屋市）

活動内容

- ・ 小学校の児童や幼稚園児を対象にした親子農業体験学習（種蒔き，苗の植え付けから食べるまでの体験）
- ・ 社会福祉法人と連携し，高齢者のための園芸療法の研修会等の開催
- ・ 野菜作り，そば作りを通した子どもから高齢者までの世代間交流
- ・ 「月1回の青空市」，「大始良ほたる祭り」，「おおあいら夏祭り」を開催

リーダーのひとこと(感想)

「食と農をテーマに，地域の子供から高齢者までが『ふれあい』『いきがい』『まなび』を体験できる事業を行った。親子農業体験学習は，募集を2回行うなど人を集めることの大変さを感じた。それぞれの活動が，どのように地域にアピールできたか，情報の共有化を図ることを痛感している。」



園芸療法の研修会



園児による大根収穫体験

浜津脇自治公民館（中種子町）

活動内容

- ・ 中種子町の北の玄関口である国道58号線の町境周辺や，星原小学校周辺に花を植えるなどの環境美化活動の実施
- ・ 夏祭りの開催（集落の青壮年を主体とする「夏祭り実行委員会」の協力）
- ・ 浜津脇集落農地管理組合と連携し，「軽トラック市」を開催

リーダーのひとこと(感想)

「浜津脇地区は，中種子町の北の玄関口に位置するので，環境美化活動に力を入れています。農地管理組合等各組織と連携を深め，更なる環境整備に取り組みたいと思います。」



国道58号線沿いの花壇



軽トラック市の開催

秋幾地区むらづくり推進委員会（龍郷町）

活動内容

- ・ 五穀豊穰を願う地区の伝統行事「ショチョガマ」の継承
- ・ 伝統行事「平瀬マンカイ」の継承
- ・ 営農の維持や後継者育成を支援するための「かかし祭り」の開催
- ・ 水田作物の田いも・マコモを使用した加工品の研究
- ・ 地域の美化作業等環境整備
- ・ 秋名小学校の米作り体験活動及びしめ縄作り指導

リーダーのひとこと(感想)

「秋幾地区は奄美で唯一の稲作地帯であります。ゆいの精神でお互いが思いやり、コミュニケーションをとりながら活力ある地域づくりにみんなで頑張ります。」



どろんこバレー（かかし祭り）



田いも加工品の研究

上手々知名むらづくり委員会（和泊町）

活動内容

- ・ 野菜等の直売及び集落民の交流の場としての「ゆらり市」の運営
- ・ 年間を通じた字内美化作業
- ・ 餅つき大会や菅原神社境内での篝火と初詣客へのぜんざいのもてなしによる交流活動
- ・ 伝統文化の継承

リーダーのひとこと(感想)

「集落の中心に設置した『ゆらり市』へ集落内外の人々が集まり、コミュニケーションが図られています。引き続き、字民総参加による花いっぱい運動や各種団体の育成に努め、地元につながる『ゆいの心』を大切に育んでいきたいと思えます。」



ゆらり市



子ども会との餅つき大会

徳時字むらづくり実行委員会（知名町）

活動内容

- ・ 四並藏（よなみぞう）神社奉納相撲大会
- ・ 地区内外住民との交流グラウンドゴルフ大会
- ・ 字内の道路脇や公民館周辺などに様々な植物を植え付け、景観の向上を図る取組

リーダーのひとこと(感想)

「『共生・協働のむらづくり支援事業』導入で字のイメージアップができました。地域内組織の連携強化を図りながら、周辺地域の方々が徳時字の行事に参加してよかったと喜ばれるように、今後もむらづくりを続けます。」



地区内外住民との交流グラウンド
ゴルフ大会の開催



四並藏神社奉納相撲大会